



21年10月期(FY2021) 3Q決算説明資料

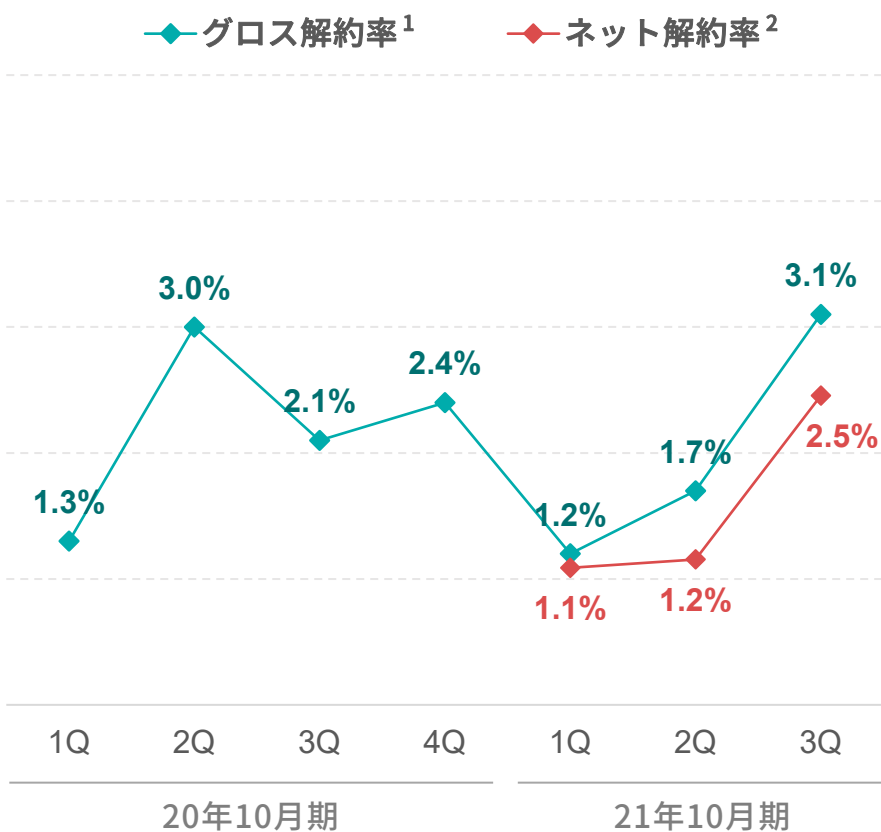
補足説明資料

2021年9月27日
株式会社アシロ

本資料の背景・意図

3Q決算説明資料にて、「大口顧客の広告予算調整により一部解約が発生したことで、3Qの解約率が一時的に上昇した」旨を記載いたしました。今後の収益に対する悪影響の大きさを懸念するお声を頂戴いたしましたので、改めて当社の収益モデルについてご説明をさせて頂く為、本資料を開示いたしました。

リーガルメディアの解約率（単位：％）



（参考）解約率についての補足

- 解約率の定義は注記の通りとなりまして、グロス解約率は当月の解約枠数を前月末の掲載枠数で除して算出した月次解約率を四半期平均した値を表示しております（顧客数ベースでの解約率ではございません）
- 当月の解約枠数は、当月に掲載を停止した枠数のことを指しており、当月末の掲載枠数には解約枠は含まれません（例. 前月末の掲載枠数が1,000枠、当月の解約枠数が15枠、当月の新規掲載枠数が25枠あった場合、当月のグロス解約率は1.5%、当月末の掲載枠数は1,010枠となります）
- リーガルメディアの売上収益は掲載枠数の増加に比例することから、解約率が一時的に上昇した場合でも、掲載枠数が増加していれば売上収益は増加いたします

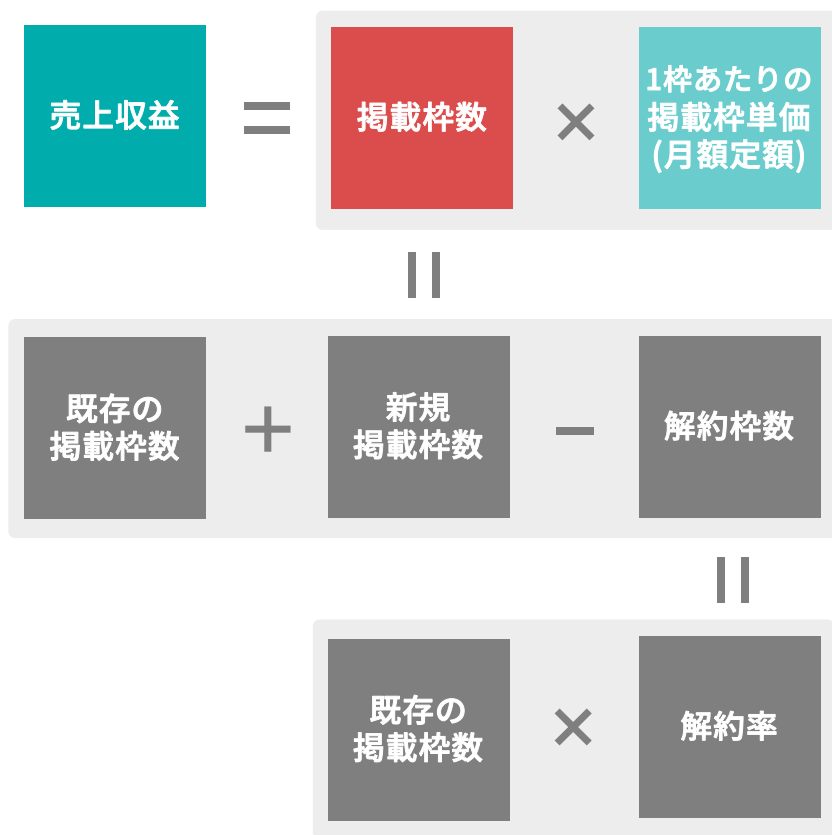
注：1 グロス解約率は、当月の解約枠数を前月末の掲載枠数で除して算出した月次解約率を四半期平均した値を表示しております

2 ネット解約率は、当月の解約枠数から（以前に解約して）当月に再契約となった枠数を減じた上で、前月末の掲載枠数で除して算出した月次解約率を四半期平均した値を表示しております

リーガルメディアの収益モデルの振り返り

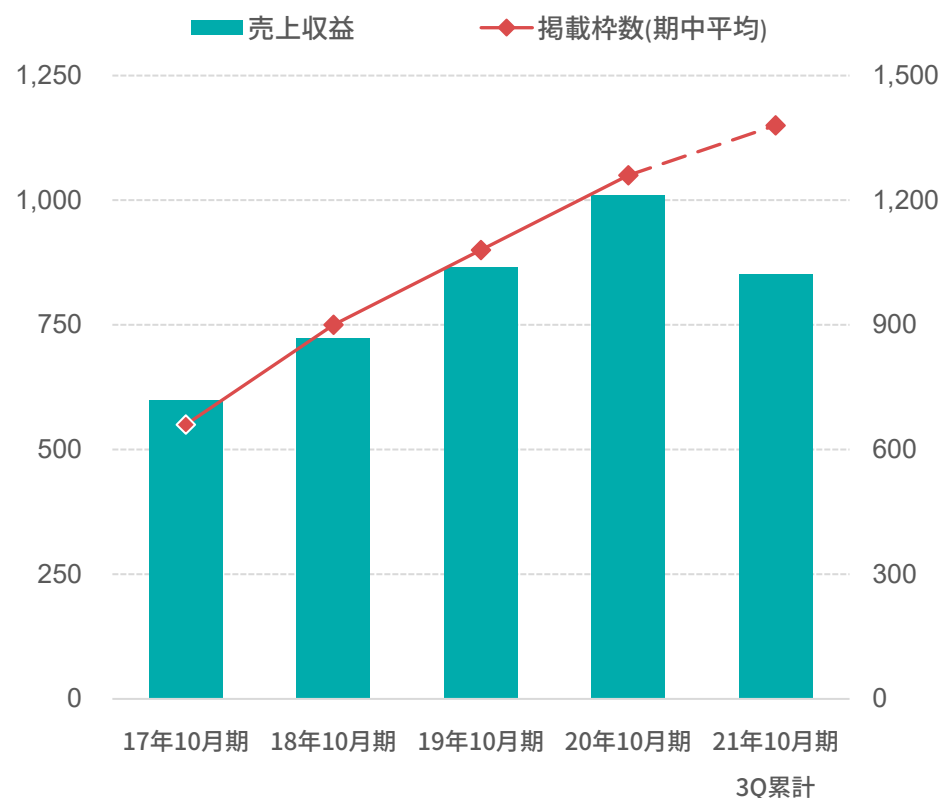
リーガルメディアの1枠あたりの掲載枠単価は月額定額であることから、リーガルメディアの売上収益は掲載枠数の増加に比例して成長いたします。掲載枠数はこれまでも堅調に増加してきており、今後も安定的な成長を見込んでおります

収益モデル（リーガルメディア）



売上収益／掲載枠数推移¹（リーガルメディア）

左軸：売上収益（単位：百万円）／右軸：掲載枠数（単位：枠）



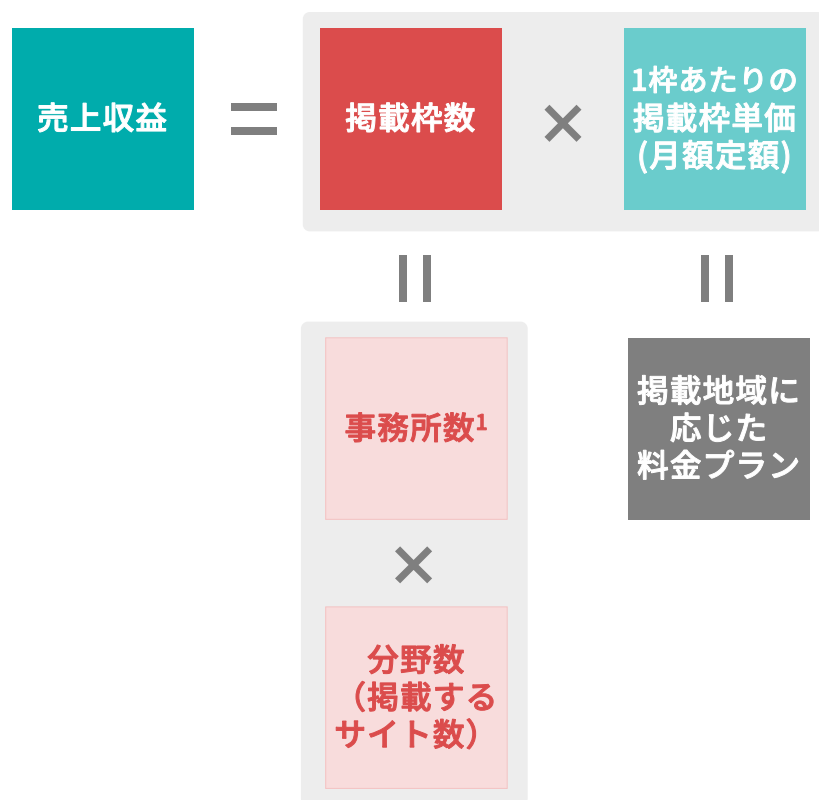
注：1 掲載枠数とは、有料広告の延べ掲載数であり、同一顧客が複数の有料広告枠の掲載を行う場合は複数カウントを行っております。

なお、リーガルメディアでは無料掲載の受け付けも行っておりますが、掲載枠数には無料掲載の枠数は含んでおりません

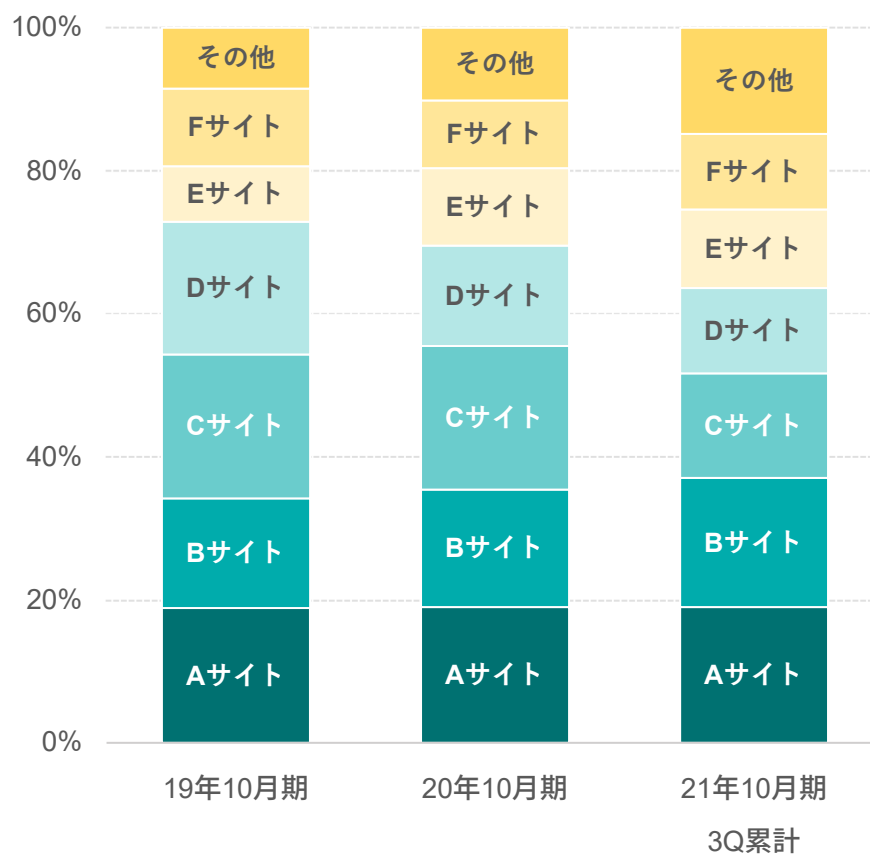
リーガルメディアの収益モデルの補足

掲載枠数は、掲載する事務所数×分野数（掲載するサイト数）に分解されます。1顧客が複数の枠を掲載していて解約を行う場合、事務所（本店/支店）や分野によって広告効果が異なることから、一部の枠のみの解約が通常であり、今回の大口顧客の一部解約も複数掲載している分野の中の一つで解約が生じております。なお、売上収益は単一のサイトに偏らず、分散が図れております

収益モデルの補足（リーガルメディア）



サイト別売上収益構成²（リーガルメディア）



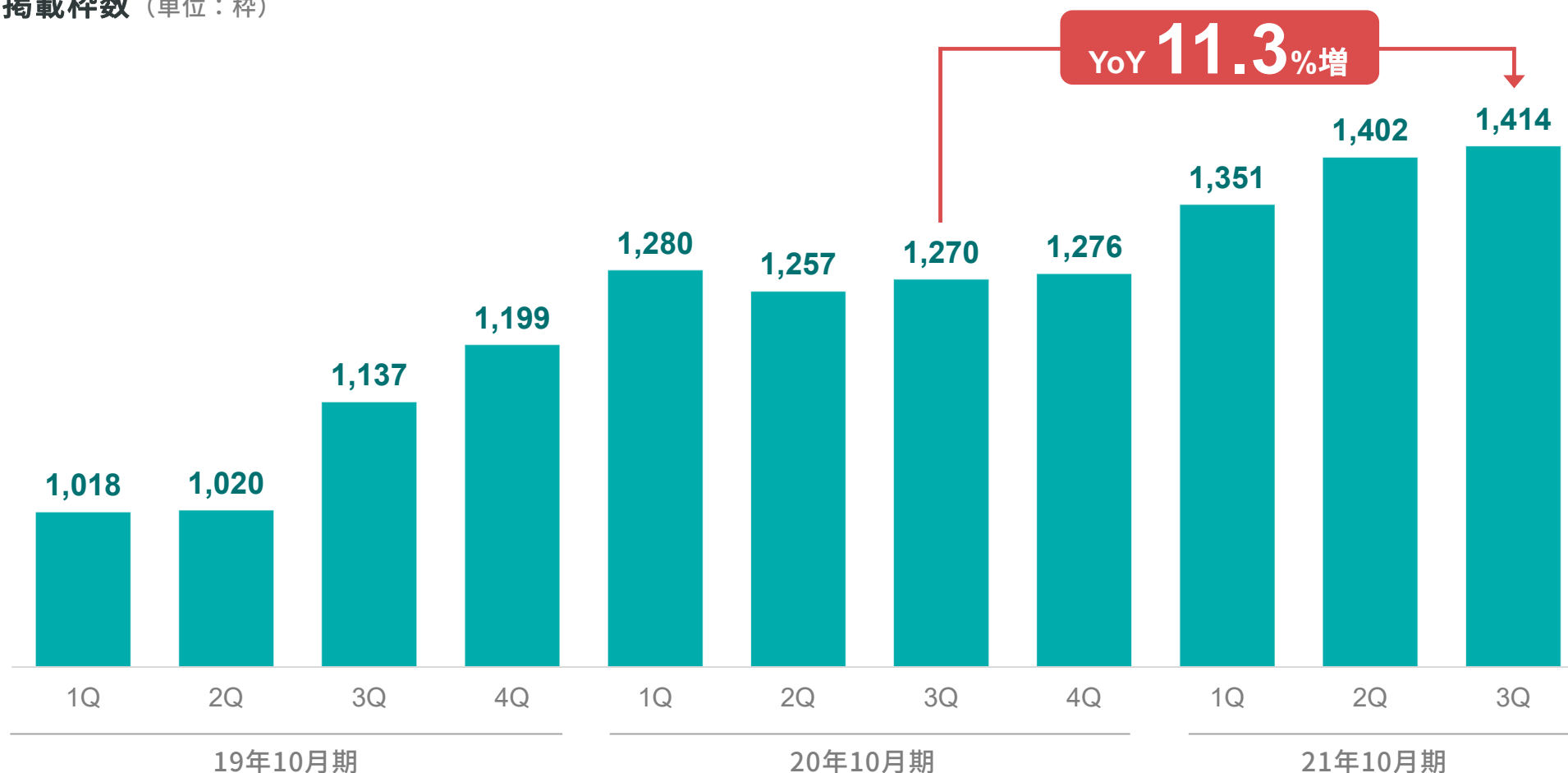
注：1 支店を有する法律事務所の場合、支店を掲載する事務所も多くございます

2 リーガルメディアの売上収益に占める、各サイト別の売上収益の構成比を表しております

リーガルメディアの掲載枠数¹(各四半期末時点)

前述の通り、リーガルメディアの売上収益は掲載枠数の増加に比例して成長いたします。3Qの解約率は一時的に上昇いたしました。その影響を受けた後の21年7月末時点の掲載枠数は1,414枠となり前期3Qや今期2Qのいずれに対しても増加しておりますので、一時的な悪影響を吸収しつつ売上収益が着実に成長しております

掲載枠数 (単位：枠)

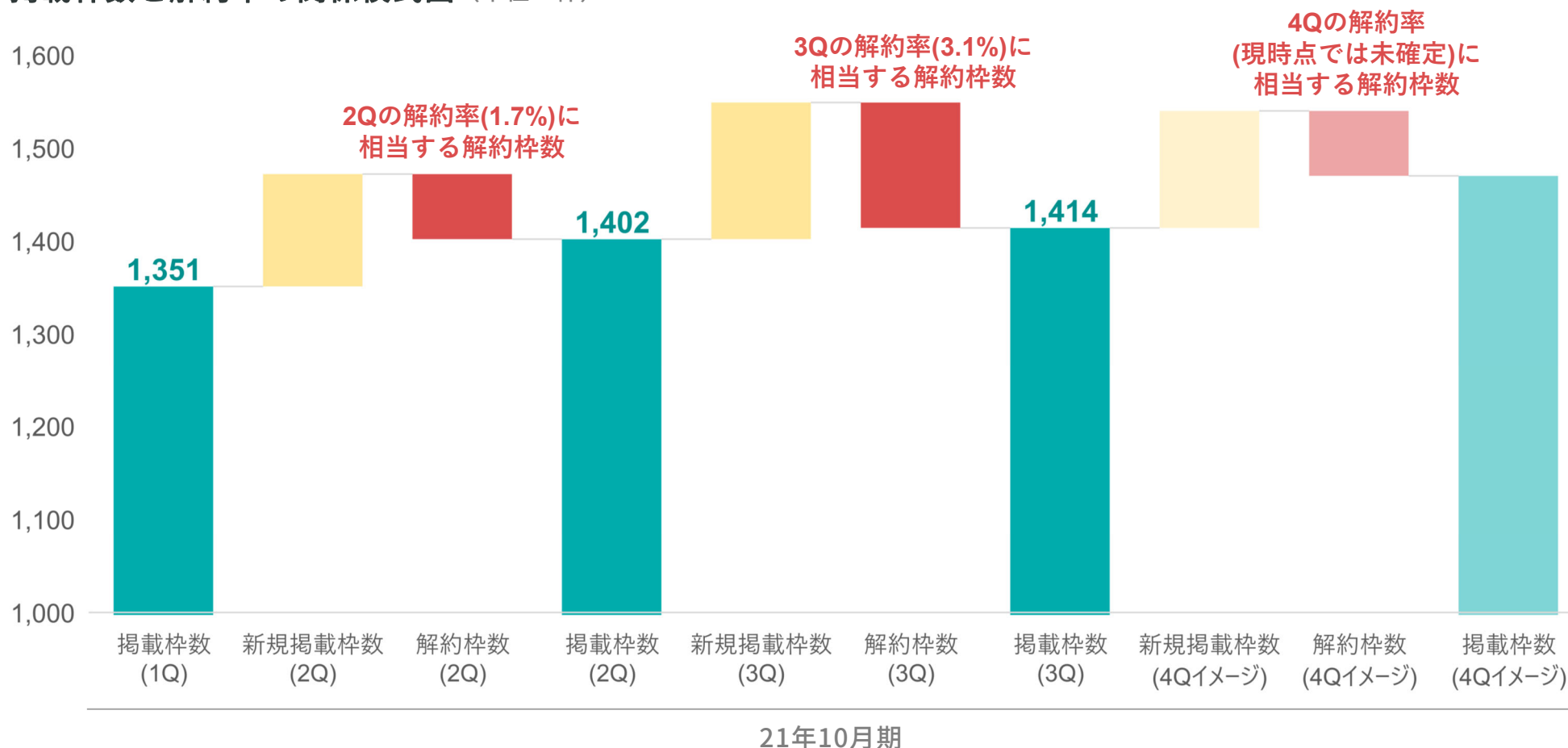


注：1 各四半期末時点の掲載枠数を記載しております

(参考)リーガルメディアの掲載枠数¹と解約率の関係模式図

各四半期末時点の掲載枠数は、その四半期における新規掲載枠数と、解約率に相当する解約枠数の差分で純増してきております。今期3Qは解約率3.1%に相当する解約枠数が生じましたが、それ以上の数の新規掲載枠数を獲得していることから掲載枠数の増加が継続しており、今後についても安定的な成長を見込んでおります

掲載枠数と解約率の関係模式図 (単位：枠)



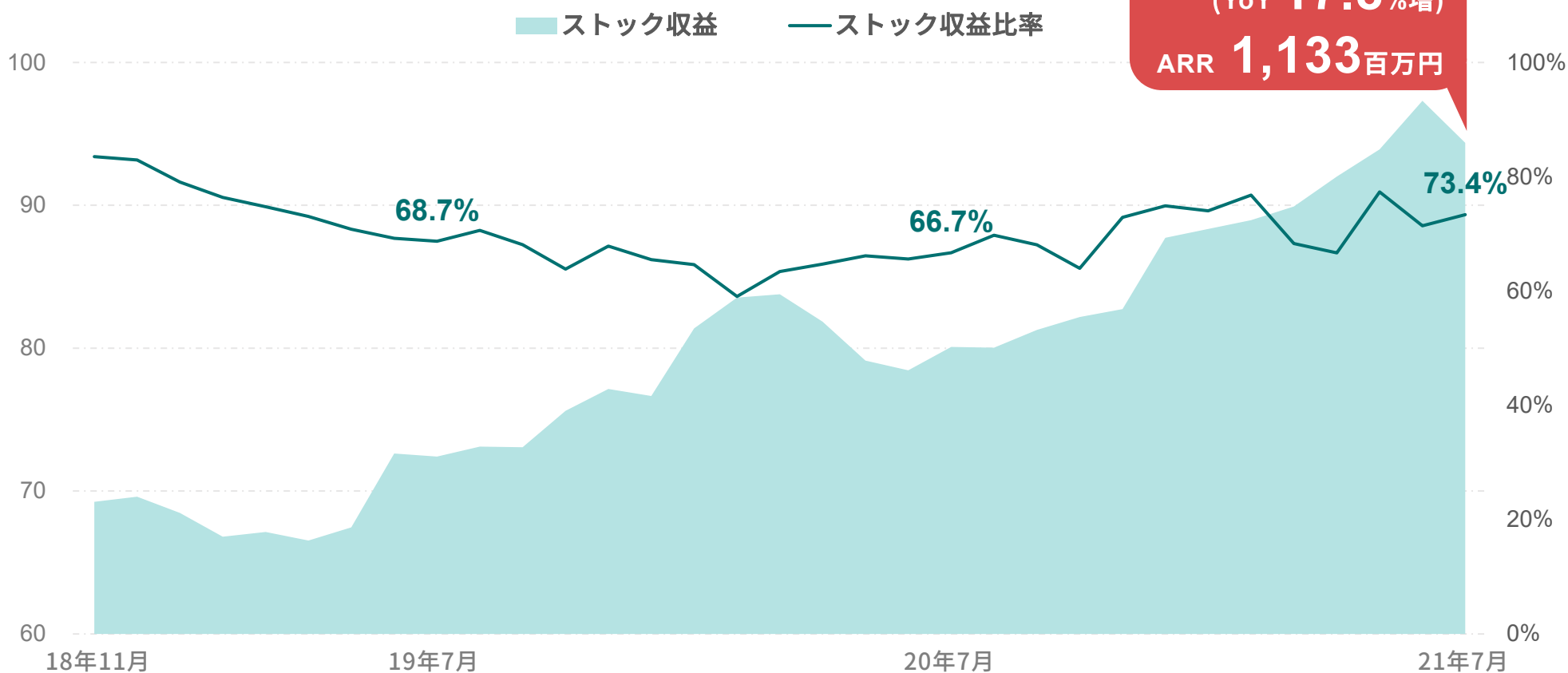
注：1 各四半期末時点の掲載枠数を記載しております

(参考)ストック収益¹／ストック収益比率²(月次推移)

リーガルメディアの月額定額の掲載料収入がストック収益となっており、21年7月単月のストック収益は94.4百万円となりYoY17.8%の増加となっております。売上収益全体に占めるストック収益比率²は73.4%となり、収益安定性が向上しております

ストック収益／ストック収益比率

左軸：ストック収益（単位：百万円）／右軸：ストック収益比率（単位：%）



注：1 ストック収益は、解約時点まで月額定額で発生する収益を定義しており、リーガルメディアの掲載料収入をストック収益として集計しております

2 ストック収益比率は、全体の売上収益に占める、ストック収益の比率を指しております

本資料に関する注意事項

本資料は、情報提供のみを目的として作成しており、日本、米国、その他の地域における有価証券の販売の勧誘や購入の勧誘を目的としたものではありません。

本資料には、将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの将来の見通しに関する記述は、本資料の日付時点の情報に基づいて作成されています。これらの記述は、将来の結果や業績を保証するものではありません。このような将来予想に関する記述には、必ずしも既知および未知のリスクや不確実性が含まれており、その結果、将来の実際の業績や財務状況は、将来予想に関する記述によって明示的または黙示的に示された将来の業績や結果の予測とは大きく異なる可能性があります。

これらの記述に記載された結果と大きく異なる可能性のある要因には、国内および国際的な経済状況の変化や、当社が事業を展開する業界の動向などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。

また、当社以外の事項・組織に関する情報は、一般に公開されている情報に基づいております。